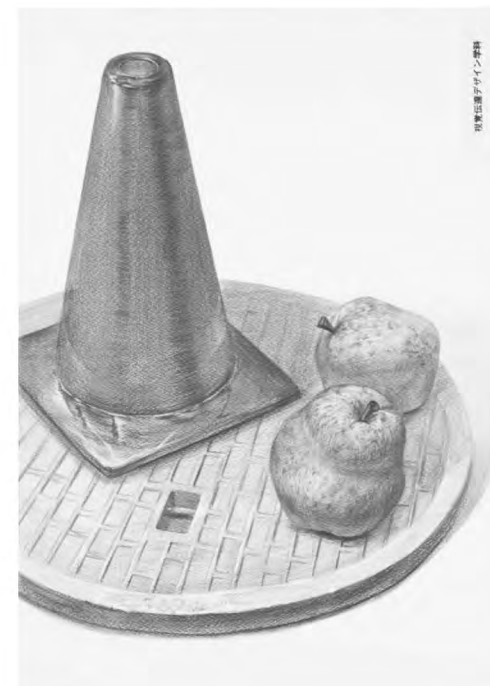




教員コメント

マンホールの蓋の楕円がやや狂っているが、滑り止めの格子型模様をしっかりと観察して描いているところがよい。カラーコーンの左の余白が空間を意識した広がりや床として意識され、よく表現されていることがこのデッサンの魅力である。ラ・フランスの描写がさらに丁寧であれば申し分ない作品である。



教員コメント

マンホールの格子模様の向きが難しい場所から描いたが、手前と奥の描き分けで意識的に強弱をつけ、奥行きを出そうとした点がこのデッサンのよい点である。カラーコーンの質感や光沢や、ラ・フランスの形の特徴を良く捉えていて魅力的なデッサンである。

【出題意図と評価のポイント】

「鉛筆デッサン」では、円、円錐、球、といった基礎的な幾何形態を持つさまざまなモチーフを、それぞれが持つ特徴や材質感、形態のプロポーションといった基本を、確かな観察とデッサン力で魅力的に描けるか、また、今回はモチーフを直置きしたので、俯瞰した状態で、奥行きや床面が捉えられ、画面に意識的に描写されるかを出題意図とした。

「デザイン」では、与えられたテーマに対して、単なる平面構成としての造形でなく、何を表現し、何を伝えるのか、という言語伝達を背景にしたボキャブラリー豊かな造形表現が望まれる。テーマに対する想像力と伝達能力、つまり、入学選抜の時点から「デザイン」が始まっていることを意識しているかをポイントとした。

●面接

外国人留学生・帰国生ともに高度な日本語コミュニケーション能力を有していること。また、本学科の教育方針、科目（デザイン領域）、カリキュラム、授業内容についてしっかりと認識・理解していること。その上で、志望動機、目標、目的意識、学習意欲を持ち合わせ、それらを自身の言葉（表現）で伝えられることを期待する。学力、デッサン、デザインの入学選抜における判断基準は、基本的に一般選抜と変わることはない。基礎学力は、言語や情報、感覚や感情に対する理解力および伝達能力のために必要不可欠の条件である。

茶道を通して心を伝える



教員コメント

急須の口から注がれる緑茶の波紋が手の形へと変化する意外性で、見る者の注意を引きつける。表題と手の形の関連が少し分かりにくい、飛び散る液体や茶葉など、細かな所まで神経の行き届いた巧みな表現が完成度を上げている。

圧倒的迫力と美しさに満ちた活気ある芸能



教員コメント

歌舞伎の隈取（くまどり）や風神雷神図、ダルマの置物など、日本人には馴染みの深いイメージが混在した不思議な作品となっている。色使いや見得を切った形など日本独特の要素を取り入れた、ダイナミックな構成が面白い。

視覚伝達デザイン学科

鉛筆デッサン(3時間)

【問題】

モチーフをデッサンしなさい。

【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. モチーフは必ずしも全体を描かなくて良い。



【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙 (B3画用紙) × 1枚
3. 下書き用紙 (B4上質紙) × 2枚

デザイン(3時間)

【問題】

「伝統」という言葉には、広くて深い意味が含まれています。「伝統」は、民族や社会が歴史的経緯を通じて培い、受け継いできた文化で、習慣やしきたり、様式など、有形無形のさまざまなモノやコトを指しています。そしてその分野は、風習や制度における儀式や行事、さらには、芸能や美術工芸、武道など、多方面の領域に及びます。こうした中から、あなたの思う「日本の伝統」をテーマに、そのイメージをデザインとして表現しなさい。画面右上の与えられた枠内に、日本の伝統の何をどのように表現しているのかを20字以内で記入しなさい。

【条件】

1. 使用する色数は自由。
2. 描画画面は与えられた紙全体とする。ただし、余白は白地とみなすので、全面を塗りつぶさなくてもよい。
3. 答案用紙は横長で使用する。
4. 右上枠内の文字書き込み部分は塗りつぶさないこと。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙 (B3セント紙) × 1枚
3. 下書き用紙 (B4上質紙) × 2枚